

平和・自立・共生 こがねはえ ともにつくる黄金南風 さと の平和郷・はえばる

はえばる 議会だより

平成26年
12月定例会

No. **188**

平成27年2月20日発行

- 平成25年度決算認定 ②
- 出産一時金支給の改正 ⑥
- 委員会レポート ⑧
- 13人の議員が一般質問 ⑪

撮影：伊波まどかさん（兼城）
題字：玉城桃子さん
（南風原小学校5年生）



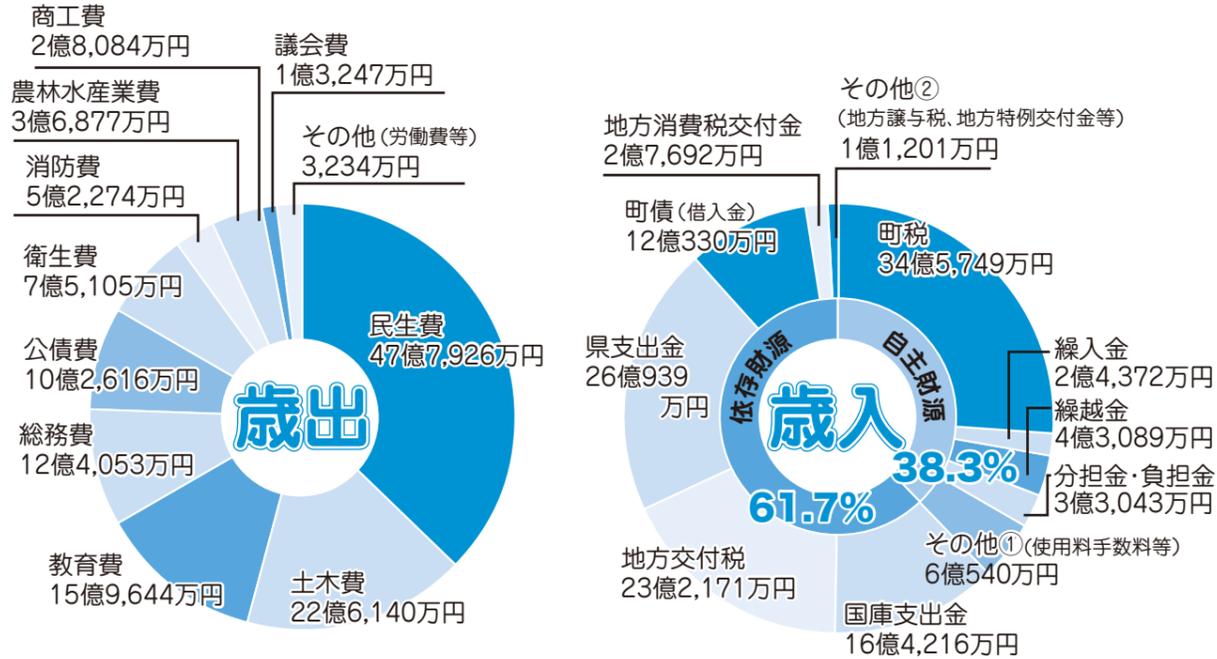
はえるん

特別会計を含み歳出総額201億9,897万円

はじめて赤字

平成25年度 一般会計歳出129億9,200万円

決算 連結実質収支



■ 歳出 129億9,200万円 ■ 歳入 132億3,342万円

町税歳入 1億856万円増額

歳入 132億3,342万円円で24年度より6.8%増、歳出は129億9,200万円円で8.7%増となりました。

■ 歳入：自主財源は対前年度比11.1%増となりました。自主財源の大部分を占める町税は1億8,560万円(3.2%)増額しています。町税は人口増に伴う納税義務者の増や収納強化が図られました。

依存財源は、対前年度比4.3%増となりました。地方交付税が平成24年度に過年度算定誤り分が措置されたことにより3億6,390万円(13.6%)の減となりましたが、沖繩振興特別推進交付金(一括交付金)等の増により4億5,380万円(21.1%)増えました。

■ 歳出：…新規事業の北丘小学校大規模改修事業や黄金森公園整備、ウガンナ前公園整備等の普通建設事業4億3,912万円(23.2%)が増えています。

毎年増加傾向にある扶助費(住民福祉のための経費)は25年度も介護給付費・訓練等給付金事業等の増により、前年度より4.4%増えました。

用語の説明

- 【歳入】** 町税：みなさまからの税金
繰入金：町の貯金を下ろして使う金額
国・県支出金：使う目的が決まっている国や県からの補助金
地方交付税：自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
町債：町の借金
- 【歳出】** 民生費：お年寄りや児童福祉、保育所の運営
土木費：道路や公園の整備
教育費：学校教育や生涯教育
総務費：職員の人件費や役場の管理
公債費：借金の返済
衛生費：ごみ処理や予防接種

意見を付けて認定

12月定例会

9月定例会で付託された決算認定は10月20日～27日まで継続審査を行いました。12月定例会(12月9日～19日)で採決を行い、今後の行政運営に活かすよう意見を付け、6会計すべてを認定しました。また、一般質問は13人の議員が質問しました。

決算合計額赤字の課題と解消を

一般会計と特別会計を合計した収支額(連結実質収支)が3億887万円の赤字となった。赤字の市町村は県内で2団体のみである。解消方策を検討し、町民へ分かりやすく説明すること。

計画通りに事業実施を

年度内に工事が終了できず繰り越している事業が多い。計画通り行えるよう努力すること。

学校給食費収入の強化を

学校給食費について町税や国民健康保険税担当課と連携を強化し、全庁的に取り組むこと。特に現年度分に力を入れること。

小中学校の防塵対策

防塵対策として年2回の小中学校グラウンドへ塩まきが予定されていたが、1回のみの実施となっている学校がある。防塵対策は計画通り行うこと。

平成25年度 一般会計

町民1人あたり **約35万円** 使いました。

(平成26年3月31日現在人口 3万6,663人)

主な項目ごとの内訳は…

民生費 13万357円	土木費 6万1,681円	教育費 4万3,544円	総務費 3万3,836円
公債費 2万7,989円	衛生費 2万485円	消防費 1万4,258円	農林水産費 1万58円

各会計別の決算（歳出）

会計	平成25年度	平成24年度	増減額	増減率	
一般会計	129億9,200万円	119億5,639万円	10億3,561万円	8.7%	
特別会計	国民健康保険	49億150万円	46億1,921万円	2億8,229万円	6.1%
	後期高齢者医療事業	2億1,724万円	1億9,137万円	2,587万円	13.5%
	下水道事業	7億1,329万円	7億1,362万円	△33万円	0.0%
	土地区画整理事業	13億3,915万円	11億6,150万円	1億7,765万円	15.3%
	農業集落排水事業	3,579万円	3,989万円	△410万円	△10.3%
合計	201億9,897万円	186億8,198万円	15億1,699万円	8.1%	

**一般・特別会計は
合計3億円の赤字**

平成25年度の決算は歳入が201億9,897万円、歳出が201億9,897万円となり、25年度中の予算で翌年度に繰り越す財源が1億6,901万円あり、歳入と歳出の差額が合計で3億888万円の赤字となりました。

原因の一つとしては国民健康保険特別会計の影響があります。70年前の沖縄戦で多数の県民が犠牲となりました。全国と比べて65〜74歳の前期高齢者の割合が低いことで交付金が少なく配分されました。

他にも、扶助費が毎年増加傾向にあることや、沖縄振興特別推進交付金（一括交付金を活用した事業や必要な事業への対応など）があり、支出が増えています。

平成25年度決算（歳入・歳出）

会計	歳入 A	歳出 B	翌年度に繰り越す財源 C	実質収支 A-B-C
一般会計	132億3,342万円	129億9,200万円	6,414万円	1億7,728万円
国民健康保険	44億809万円	49億150万円	0	△4億9,341万円
後期高齢者医療事業	2億1,817万円	2億1,724万円	0	93万円
下水道事業	7億2,420万円	7億1,329万円	820万円	271万円
土地区画整理事業	14億3,855万円	13億3,915万円	9,667万円	273万円
農業集落排水事業	3,667万円	3,579万円	0	88万円
	200億5,910万円	201億9,897万円	1億6,901万円	△3億888万円

社会福祉協議会事業

ファミリサポーター事業や在宅介護支援、栄養改善事業を調査しました。

社協会員加入率の課題も確認しました。

社会福祉協議会
88913213

各種証明のコンビニ交付

住基カードを利用して住民票の写しや印鑑登録証明書等がコンビニで取得できるようになりました。

役場に足を運ばなくてもコンビニで取得できます。

サービス提供
6:30〜23:00（↑/29〜1/3を除く）

津嘉山幼稚園

平成25年度から専任園長、給食開始、延長保育が開始となりました。

専任園長に変わり常時園長がいることで、よりよい園運営が行われるようになると確認しました。

津嘉山北土地区画整理事業

津嘉山十字路周辺の事業実施箇所を確認しました。

宅地造成や道路整備などが早期に完了できるように事業執行するよう指摘しました。

区画下水道課
88912508

現場調査

決算審査のため、議員全員で現場を調査しました。町のお金が適正に利用されたか、直接見て確認しました。

下水道事業

- 人口普及率=57.3% (町民半数以上が利用可能)
- 整備済地域の接続率は91.2%で5.3%増

後期高齢者医療保険

平成20年度から始まり、被保険者(75歳以上)は年々増えている。

平成20年 1,972人
平成25年 2,505人

国民健康保険

給付費の増により歳出(支出)が増えており、平成20年度以降赤字決算となっている。

土地区画整理事業

事業進捗率は総事業費ベースで65%

- 面整備率50%
- 建物補償率86%

*津嘉山北地区の区画整理に利用される会計

特別会計
平成25年度決算の特徴



農業集落排水事業

一括交付金により神里地区汚水処理施設に太陽光パネルが設置された。太陽光パネルの効果は…

- 消費電力：20.0%削減
- 電気料：11.6%削減

【収入未済への対策は】

保育園保育料及び主食費と学校給食収入において、徴収や収入未済などについて適宜対応すること。

【国民健康保険医療費の抑制対策を】

加入者1人あたりの医療費が前年度より1万7千円増加している。医療費の抑制は喫緊の課題であり、抜本的解決が急がれる。



監査委員は町長に決算審査意見を提出しました

監査委員の指摘

代表監査委員 稲福 清
議会選出監査委員 玉城 勇

審査期間 7月7日〜8月5日
意見書提出 8月29日

財政は総じて健全に運営された。しかし、一般会計及び特別会計を総括した実施収支額が赤字決算をもって翌年度に引き継いだことは、財政収支の均衡保持等に配慮が足りなかった結果である。また、依然として依存財源の比率が高く、厳しい財政運営となっている。

条例
全会一致で決

12月定例会に提出された議案は審議の結果、すべて可決しました。

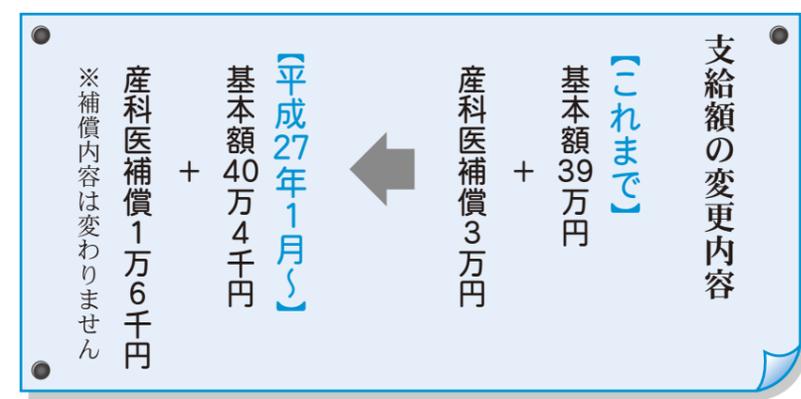
出産育児一時金の支給内容が変更

国民健康保険の出産育児一時金の支給額の合計42万円は変わりませんが、基本額と産科医療補償制度にかか

産科医療補償制度とは

分娩に関連して重度脳性麻痺となった赤ちゃんとご家族の経済的負担を補償と脳性麻痺発症の原因分析・再発防止の機能を併せ持つ制度です。

国民年金課
889・1798



補正予算
全会一致で決

平成26年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ1億7千68万円を追加し、総額137億5千9万円としました。

一般会計補正の主な内容	補正額
【歳入】	
安心子ども基金補助金（県委託金）	6,224万円
学校給食収入	601万円
【歳出】	
みつわ保育園の増園及びさんご保育園の分園	7,261万円
防犯灯設置工事	43万円
（旧社会福祉センター前～文化センター）	
南風原物産展の開催（2月14日・15日）	265万円
名古屋グランパスキャンプ関係経費	2,515万円

特別会計の補正	補正額
国民健康保険	1億6,510万円
土地区画整理事業	事業繰越のみ

土地区画整理事業
特別会計の事業繰り越し

今年度予定していた津嘉山北土地区画整理事業において施行箇所が物件移転の遅れや物件移転等の遅れもあり、次年度に繰り越す事になりました。

繰り越し分の事業完了は整備工事が平成27年9月末、物件補償が平成28年2月末を予定しています。

意見書
全会一致で決

陳情（要請）を受け、審議し、関係行政庁に意見書を提出しました。

所得税法の寡婦控除制度の改正を

所得税法上の寡婦控除は、配偶者と死別または離婚した後再婚していない女性で、扶養する子がいる人などに適用される制度である。婚姻歴のない母子世帯の母には適用されていない。婚姻歴のない母子世帯の母は、所得税・住民税の算定基準となる課税所得が高く、保育料等の算出の際に、大きな不利益をこうむる結果となっている。所得税法の寡婦（寡夫）控除制度を早急に改正し、婚姻歴の有無、男女の別にかかわらず、全てのひとり親に対して控除を適用するよう強く要請する。

提出者 赤嶺奈津江
あて先 衆参議院議長
内閣総理大臣 他

*意見書から一部抜粋しています

人事
全会一致で決

監査委員、選挙管理委員、人権擁護委員
決まる

- ・町監査委員
稲福 清 氏（宮城）
- ・選挙管理委員
赤嶺 松男 氏（宮平）
照屋 照守 氏（神里）
大城 康廣 氏（照屋）
宮城 政行 氏（宮城）
- ・人権擁護委員
上原 弘子 氏（宮平）
赤嶺 和子 氏（喜屋武）

人権擁護委員とは
人権侵害による被害者の救済をしたり、人権相談や地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行います。

臨時会
1月16日

食料や生活用品など
災害用備蓄品を購入

災害用の備蓄品を購入し、緊急時への対応を行いました。
備蓄品は主にパン入り缶詰や保存水、緊急対策用トイレ袋など災害時に必要となる食料と生活用品が中心です。
今回購入する備蓄品は、各自治会へ配布され、常備保存されます。



平成28年までに人口の20分の1の3日分を目標に備蓄

委員会レポート

議案をより深く審査するため、必要な書類、資料を求め、2つの所属委員会に分かれ、担当課へ質疑しました。

総務民生委員会

委員長：浦崎みゆき 副委員長：金城好春
委員：新垣由雄・大城勝・大宜見洋文
照屋仁士・赤嶺奈津江・大城毅

ファミリーサポートの課題は

問 社会福祉協議会にはファミリーサポートセンター等の相互扶助活動がある。しかし、サポート会員が少ない。課題は何か

答 町は仲介する事が主で、サポート事業自体は個人間契約となる。そのため、提供する側に責任が重くのしかかる。サービス提供を断念する要因のひとつとなっていると考える。

ファミリーサポートセンター
88913327

経済教育委員会

委員長：玉城勇 副委員長：上原喜代子
委員：知念富信・花城清文・赤嶺雅和
宮城寛諄・大城真孝

図書館の学習環境は

問 図書館にパソコン等を視聴する環境はあるか。

答 平成25年度からDVD等の視聴覚資料の提供やパソコン機器の環境整備を行った。本土新聞も4紙に増やした。そのため、本の貸出以外利用も増えている。



パソコン機器も設置されている。

青年リーダーの育成を



民俗芸能交流会

問 高齢者や女性団体にはリーダー研修補助金が交付されている。しかし、青年リーダー研修補助金の交付はない。なぜか。

答 青年連合会にアプローチしたが、時間的都合が合わず実行できなかった。

問 青年会活動は地域活動につながる。リーダー育成に力を入れるべきではないか。

答 リーダー育成は町青年連合会の重点事業である。社会教育団体間の交流や補助金等で支援に努める。

①ファミリーサポートセンター利用実績

	H22	H23	H24	H25	総数
利用件数	396	600	738	1,162	2,896

②会員数(平成26年8月末 現在)

おねがい会員	202人
サポート会員	74人
どっちも会員	41人
計	317人

③主な活動内容

1. 保護者の短時間・臨時的就労の場合の援助
2. 保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり
3. 学童保育の迎え及び帰宅後の預かり
4. その他

消防行政との連携を



東部消防出初式

問 消防行政と町の防災行政の境目にあいまいな部分がある。棲み分けはどうか。

答 消防は防火と救急が主であり、その他の部分を町行政が担うことになる。棲み分けを明確にしていく。

問 防災行政は今後どう取り組むか。

答 自主防災組織立ち上げに向けて取り組みたい。また、東部消防組合と密に連携をとっていききたい。

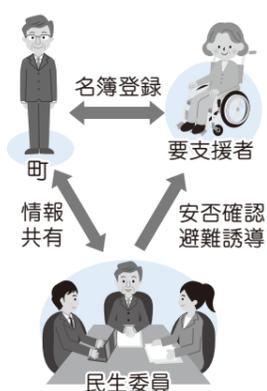
災害時の支援システムは

問 「災害時要支援者支援システム」とはどのような仕組みか。

答 災害時に障がい者等を避難誘導するシステムである。必要な名簿(台帳)作成と地図(マッピング)作成を行っている。

問 対象者を把握しているか。

答 災害時には民生委員や社会福祉協議会へ名簿の情報提供が可能である。しかし、平時には本人同意がないと個人情報保護の観点から提供できない。すべての対象者の名簿登録は完了しておらず、名簿作成に取り組んでいる。



調査活動の充実を図るため「政務活動費」の運用を学ぶ



沖縄県町村議会議長会
石垣 安秀 氏

研修テーマ 政務活動費の運用

2月10日に沖縄県町村議会議長会の石垣事務局長を招き、研修を行いました。

南風原町議会は、「政務活動費」を平成26年4月に導入しました。改選により、新しい議会構成となったことや運用について質問もあることから、全議員で政務活動費の実態と運用のルールを再確認しました。

政務活動費の使途は不透明であってはなりません。そのため収支報告と領収書添付を義務付けています。

研修では議員の調査研究活動の実態を踏まえながら、使途基準と透明性の確保を再認識しました。



本町議会が全国表彰

〜取り組んできた議会改革〜

平成27年2月に、全国町村議会議長会より町村議会特別表彰を受賞しました。これまで行ってきた議会改革が評価され、全国928町村のうち5団体の受賞です。



特別賞受賞（全国で5団体）

おもな議会改革

- （平成21年9月）賛否の状況を公表
- （平成23年6月）議会活性化調査特別委員会設置
- （平成24年4月）議会報告会の開催
- （平成25年3月）一般質問対面式を採用
- （平成25年9月）一般質問答弁書の事前配布
- （平成25年12月）インターネットによる議会中継
- （平成25年12月）議会基本条例制定
- （平成26年4月）政務活動費を交付

これからも開かれた議会を目指し議会改革を進めていきます。

今後の検討事項

- 議会基本条例の検証
議会基本条例を検証し、必要に応じて改正します。
- タブレット導入
平成27年3月より委員会へのタブレット持ち込みを許可します。本会議での活用も調査します。
- 政務活動費の精査
実情に合わせてルールを再確認します。
- 各種団体との意見交換
年に1回の報告会に加え、各種団体や地域との意見交換の場を持つよう取り組みます。

南部振興会

長年の功績が評価

議会議員として永きにわたり地方自治の発展に貢献したことが評価され、受賞しました。

玉城 光雄 氏（宮城）
議員として9期36年
前副議長

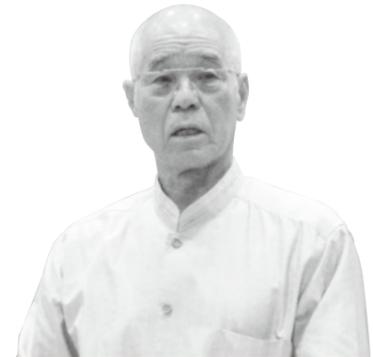


中村 勝 氏（宮平）
議員として6期24年
前議長
前町村議会議長会会長



ここが聞きたい

施策を問う



大城 真孝 議員

幼稚園児の学童 利用はどうか

答 土曜日預かり保育を検討する

問 4月から施行される子ども子育て支援新制度では幼稚園児の学童利用は認められなくなる。幼稚園の預かり保育はどう変わるか。

教育長 幼稚園型の一時預かり事業を町立幼稚園の土曜日預かり保育として実施できないか検討していく。

問 民生部と教育委員会は学童の待機児童解消のためにどのような調整を行っているか。

教育長 民生部と教育委員会では学童の待機児童解消に向けて関係課で調整会議をもち、解決策の検討をしていく。

問 教育委員会の方針で土曜日、春休みも預かり保育を行う場合、指導しなければいけない。それをどう思うのか。

問 4月から土曜日も開園することを通知することが一番大事ではないか。

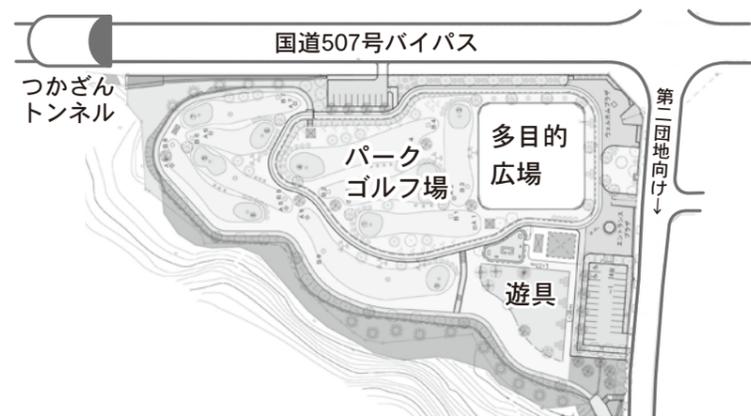
町長 土曜日は休みだという固定観念をはずし、土曜日も預かるという方針を強くアピールすることが大事だと思う。

教育委員会と連携して進めていきたい。

津嘉山公園の進捗は

問 津嘉山公園整備の進捗と事業完了までの予定はどうなっているか。

副町長 平成27年から29年度までの3か年で本格的な整備を行う計画である。



津嘉山公園イメージ

問 公園整備が当初の予定より遅れているがなぜか。

副町長 平成24年度の実施設計時において計画変更が生じたため遅れている。



花城 清文 議員

新たな図書館で 充実した環境を

答 新たな図書館の建設は考えていない

問 町立図書館は狭い。新たな図書館を建設できないか。
教育長 特徴ある図書館を目指して鋭意努力している。新たな図書館の建設は考えていない。

幼稚園預かり保育を問う

問 5歳児は来年から学童が利用できるが、保育園や幼稚園での受け入れはどうか。
教育長 幼稚園のあり方について民生部と調整会議をしている。

問 園長と話し合いをしているか。
教育長 保育園園長会には子ども課長が毎月参加している。幼稚園とは教育委員会が園長または教頭と話し合っている。

問 土曜日の預かり保育料は決まっているか。
教育長 幼稚園預かり保育料

は平日(月額)5千円、土曜日は一日につき800円で弁当持参を予定している。

問 幼稚園の園長は土曜日勤務するの。
教育長 園長も土曜日は出勤となる。

問 北丘幼稚園では預かり保育を担当する職員が探せず現場に負担をかけたと言った。職員の確保はどうなっているか。
教育長 臨時職員等の確保は未定である。



幼稚園の給食時間

町道10号線の整備を問う
問 大名にある町道10号線は多くの人が利用している。整備の進捗はどうか。
副町長 平成31年までの計画で事業費は18億円である。

問 仮設の道路が必要ではないか。
副町長 起点の県道から約200mは山手側へ約5m現道を拡幅する。その拡幅部分を仮設道路として工事を行う。

こんな質問もしました

- ・ 社会福祉協議会への支援を
- ・ 一括交付金を活用した琉球絃の後継者育成は

問 50・50プログラムを実施している学校はあるか。
教育長 活動を実施している学校はまだない。

問 クーラーを設置すると、光熱水費が増加するのは確実と思われる。財源は大丈夫か。
教育長 小中学校6校で、光熱水費が1千500万円増え大きな負担になる。

総合計画に50・50プログラムを、実施すると明記されている。省エネ教育の観点や光熱水費節約も含め前向きに検討したい。

こんな質問もしました

- ・ 学校行事は児童・教師に負担はないか

翔南小学校区内 待機学童への対応は

答 民間施設を利用した学童クラブ設置をお願いしたい

小中学校へのクーラー設置を問う

問 4小学校の中で、特に待機学童の多い翔南小学校区内に学童クラブ設置の考えはないか。
副町長 保護者等からの要望は、学校敷地内への学童クラブ新設となっている。そのため、教育委員会との調整を進めている。それまでの解決策として、民間施設を利用した学童クラブ設置の検討を保護者の皆さんをお願いしたい。

問 近隣自治体の小中学校でのクーラー設置状況は、本町と比較して違いはあるか。
教育長 県平均のクーラー設置率は67・9%である。本町は、特別教室には設置しているが、普通教室はほとんど設置していない。

は平日(月額)5千円、土曜日は一日につき800円で弁当持参を予定している。

小中学校の50・50プログラムへの認識は

問 50・50ライフ・ファイティ・プログラムとは、どのような活動か。
教育長 削減できた光熱水費の半分をその学校に還元する仕組みである。

削減部分



学校の光熱水費予算



大宜見洋文 議員



知念 富信 議員

屋内運動場建設で スポーツアイランドを

答 財源確保など検討が必要のため
事業化は厳しい

問 屋内運動場を一括交付金で建設できないか。

副町長 一括交付金は、沖縄振興に資する事業が対象である。補助事業で実施できない事業の交付金活用は可能ではある。しかし、必要性や費用対効果、一般財源の確保など検討が必要のため事業化は厳しい。

問 一括交付金の配分別保留金の活用状況はどうか

副町長 特別枠は30億円を枠として、市町村6億円を上限との基準がある。平成25年度に10市町村の13事業で24億8千万円、平成26年度に15市町村の17事業で31億2千万円が採択されている。

LED保安灯の設置を

問 国場川の管理道路に保安、憩いの場としてLED保安灯の設置ができないか。

経済建設部長 コミュニティ施設の一環として、県へ管理道路の整備を要請していく。



国場川の管理道路

問 一括交付金を活用して町内自治会の防犯灯を順次、LED防犯灯に変更できないか。

経済建設部長 各自治会の防犯灯は古い。製造もなく在庫のみの状態である。一括

交付金を活用してLED化を進めたい。前例の確認をし、交付が可能ならば、平成27年度から実施していきたい。

小中学校の教室に クーラー設置を

問 小中学校の普通教室にクーラー設置の補助事業はあるか。

教育長 普通教室のクーラー設置は、文部科学省の補助事業がある。新增築事業には85%補助、大規模改造事業には3分の1の補助がある。

問 町は普通教室へのクーラー設置を計画しているか。

教育長 特に暑い教室が各学校に4教室あるとの報告がある。風通しの悪い教室はクーラーの設置を計画している。

問 担当職員・社会教育委員の職務内容や待遇について、

- ① 青年会支援に絞る
 - ② 他の業務を減らす
 - ③ 担当を増やすもしくは協力者を増やす
 - ④ 委員を増やす、若い委員やOB等も含め加える
- そのような検討ができないか。
- 教育部長** バランスを考えていきたい。

全ての自治会に 青年会結成を

答 19自治会からすると少ないと認識している



照屋 仁士 議員

問 社会教育団体の実態を掴むためには青年会組織が主催する事業や研修等に、担当職員や社会教育委員と一緒に参加する事も必要ではないか。



青年エイサー

生涯学習文化課長 青年会から依頼があれば参加していきたい。

問 教育行政のあり方について人的・予算的にも学校教育と社会教育の扱いがあまりにも差がある。

社会教育の支援育成は最も重要と考え提案をしている。今後の自治会加入率とも必ず連動する。予防的措置も含めて今後十分検討する必要があるのではないか。

教育部長 そのように対処していく。

こんな質問もしました
・ボランティアや目的別団体の支援を

教育部長 青年会を盛り上げるためにはそのようなかたちでの意義は大いにあると感じている。

問 南風原町青年連合会には6団体が加盟し、未加盟4団体である。絶対的に青年会の数が少ない。また数年この現状は変わっていない。現状認識はどうか。

教育部長 19自治会からすると少ないと認識している。各自治会で青年会を結成し、盛り上げてほしいと思う。

問 一括交付金で伝統芸能の備品補助や団体補助を創り出した。例えばそういった補助を連合会を通して丁寧に斡旋したりできないか。また、役場の採用では正職員だけではなく臨時、嘱託職員の採用に青年会活動をしている人を積極的に登用してはどうか。南青連に加盟するメリットを協力して生み出せないか。

教育部長 青年会を盛り上げるためにはそのようなかたちでの意義は大いにあると感じている。



赤嶺奈津江議員

発達障がい児支援・特別支援教育支援員の課題は

答 各児童生徒は援助方法が違い、マニュアル化できない

問 特別支援教育支援員の課題は何か。

教育長 特別支援教育支援員は年々増えている。そのため、支援員の確保が厳しくなっている。児童生徒の個性により援助の方法が違い、マニュアル化できない。

問 南風原町で経験を積み、他市町で支援員をしている方もいると聞く。待遇面での問題があるのではないか。

教育長 町で経験を積んだ支援員をできるだけ町で継続してもらう方針はある。今後、待遇の改善も含めて努力をしていく。

学校施設の整備を問う

問 北丘小学校を含め、4小学校、2中学校の再整備やメンテナンスの計画がどうなっているか。

教育長 北丘小学校整備が終われば、実施計画に基づいて

南星中学校から順次整備を進めていきたい。

教育部長 メンテナンスを重視して年数の経っている学校から順次、北丘小学校同様の手法で行っていく。

問 北丘小学校は校舎以外で、今後の整備を検討している箇所はあるか。

学校教育課長 北丘小学校は、体育館の整備を検討している。また、進入口が1か所しかないため避難通路含めてあと1か所検討していく。北丘幼稚園の屋外環境も今後検討していく。



北丘小体育館も整備が必要

子どもたちの放課後居場所づくりは

問 翔南学童で増園の課題が出ていると聞く。地域環境の違いに合わせた放課後居場所づくりを支援してはどうか

副町長 翔南小学校区は他の校区に比べて学童クラブが少ない。毎年、定員以上の申込があり、学童クラブに入れない児童が出ているのが現状である。保護者等から学校敷地内への新規学童の設置要望が寄せられている。その件については、これから教育委員会と協議を進めていく。

町長 町民ホールに町歌を掲示し、多くの町民へ町歌の普及に努めたい。

問 近年、しまくとうばに対する関心が高まっている。学校現場での、しまくとうば普及への取り組みを問う。

教育長 学校の授業での特別な取り組みはないが、町主催のうちなぐち大会に児童生徒が自由に参加している。

町長 南風原町は、それぞれの集落が特徴あるしまくとうばを持っていて、大事にしていかなければならない。地域や家庭では、しまくとうばを使う子どもが少なく、悲しいことである。しまくとうばを、大人の私たちが、子や孫に教え、伝えていくんだという意識を持つことが大事である。

ふえーばるのしまくとうば普及は

答 子や孫に伝えていくという意識が大事



大城 勝 議員

問 わが南風原は、「ふえーばる」とも、「へーばる」とも言い方がある。一方、文献表記では「ふえーばる」がほとんどだと思ふ。それに関して行政の見解はどうか。

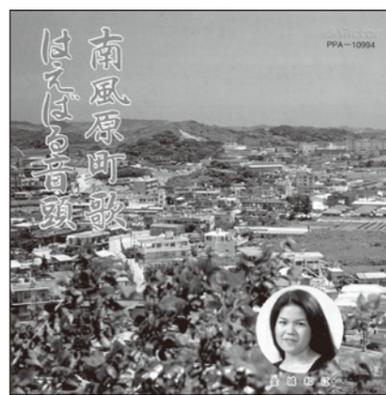
教育長 地域でも読み方が違う。町の見解としては、しまくとうばで表記する場合はそれぞれ地域での読み方で良いと考えている。

南風原町歌の普及を

問 40年も前に作られた南風原町歌は、町民の心を強く鼓舞し、町の発展を高らかに歌っている。この町歌が、多くの町民に広く普及していないのは実に残念である。普及への一案として役場1階ロビーの壁に大きなパネルでの町歌の歌詞を掲げることを提案する。もっと町歌に親しみが持て、町への愛着度を高めるのに効果的だと考える。



南風原町歌



南風原町歌レコードジャケット

問 国民の税金を政党が受け取ることにどう思うか。企業・団体献金をやめるといふことで政党助成金が作られたのに、二重取りといえる政党助成金は廃止すべきである。議員が身を切るといふことで定数削減をと言つが、削減は民意を削減することである。身を切るといふのであれば政党助成金を廃止すべきだと思つが、どう考えるか。

町長 二重取りを控えるために政党助成金制度ができたと思う。国民の理解を得るためには、国会議員の定数を減らすことも議論すべきであると考ええる。

この問題は、国で議論すべきもので私たちがどうこうするものではない。

政党助成金の廃止を

答 この問題は、国で議論すべきものである



宮城 寛諄 議員

町内一周線のバスを

問 週3回1日2便の福祉バスが運行されている。ちむぐくる館と各自治会の往復のみである。町内一円をカバーできる小型バスを運行できないか。

副町長 他市町村の状況をみると財政負担が大きいといふことから町内一周バスの運行は厳しい。

通学路の安全を

問 国場川の整備で、当間橋・平原橋の架け替え工事が実施されている。北丘小学校区の通学路の交通が迂回路となつている。安全対策は万全か。

副町長 工事箇所入口には誘導員を配置している。工事箇所での侵入チェックを行い、管理道路では歩行者を優先している。

中央公民館前県道に照明を

問 中央公民館前県道は、夕方に町民が暗い歩道を利用している。早急の整備が必要かどうか。

町長 安全管理のためぜひ実施したい。平成26年度の補正予算で対応する。



中央公民館前県道

名古屋グランパス キャンプ受け入れは

答 クリーンアップ、花いっぱい作戦を実施する



金城 好春 議員

問 名古屋グランパスのキャンプ期間や内容はどうか。

教育長 2月9日から17日までの9日間のキャンプとなる。内容は2015年リーグ戦に向けたチーム戦術の確認と体力づくりとなる。

問 駐車場対策や防犯対策はどうするか。

教育長 イオン南風原と連携し黄金森公園まで送迎バスを運行する。試合時は南風原小中学校グラウンドも駐車場にする。防犯のため警備員を配置する。

問 キャンプに向けた町の取組はどうか

教育長 実行委員会を立ち上げ、町民皆で歓迎できるように盛り上げたい。クリーンアップ作戦や花いっぱい作戦も実施する。



花いっぱい作戦

問 青少年へのサッカー教室も実施するか。

教育長 小中学生を対象にサッカー教室を開催してもらう予定である。

問 オープン戦も計画しているか。

教育長 県内でキャンプを予定しているJリーグチームがいくつかあり、練習試合も行うと聞いている。

待機児童解消を問う

問 一般会計補正予算で県補助金として、児童福祉補助金、計7千261万4千円が計上されている。この予算で保育園を整備した場合、待機児童は何人解消されるか。

副町長 みつわ保育園の増園で30人、さんご保育園の分園で30人、計60人の定員増を予定している。

問 分園を希望する保育園は何園あるか。

副町長 平成27年度に対応可能な園はみつわ保育園とさんご保育園である。今後分園可能な園は4園ある。

問 認可保育園を増やす計画はあるか。

副町長 潜在的な待機児童数の分析を行いながら、待機児童解消に向けた各施策を策定中である。その中で認可外保育園の認可化も検討している。



上原喜代子 議員

授業力向上に対する取り組みを問う

答 先進地域の講演会を検討する

問 授業力向上のため先進地の方式を本町に取り入れるか。また、調査研修を通し本町の課題は何であると考えるか。
教育長 それぞれの良い部分を本町の教育実践に取り入れている。課題は、家庭や地域の教育力であると考え

問 教員が先進地の学校現場を視察している。本町に取り入れて実践している内容は何か。
教育指導主事 中学校の先生が小学校の授業を見学している。学ぶ課程を確認し中学校の授業につなげている。

問 先進地と比較して本町の教育予算は十分か。
教育部長 教育委員会としては、学校からの要求に応えるよう対処している。

問 秋田県の先進地域に教育関係者2千人余が視察研修をしている。本町との人事交流や講演会等の計画はあるか。
教育長 人事交流の計画はない。青少年協や学力向上推進協議会事業として講演会を実施する方向で検討していく。



小学校の授業を確認し、中学校の授業につなげている

不登校の状況と対応は
問 小中学校では登校渋りや不登校に関し、やや安定していると聞く。中1ギャップも減少の傾向にあるのか。
教育長 中1ギャップに関して資料が乏しく不登校の原因であるか掴み切れていない。

問 不登校の児童生徒の推移は、学力向上との因果関係もあるか。
教育長 具体的なデータで説明はできないが、因果関係は考えにくい。

問 不登校の結果で本町の進路なき卒業（未進学、未就職）の推移はどうか。
教育長 平成25年度は不登校生徒21人中12人が進学、2人が就職、7人が未定である。

学校教育課長 クーラーの整備計画は、おおむね5年で特に暑い教室については設置していこうと考えている。

こども医療費の窓口無料を

問 こども医療費の窓口無料（現物給付）への改善を図れないか。沖縄県でも窓口無料（現物給付）を実施できるよう、県の支給要綱改正を求めるべきではないか。
学校教育課長 窓口無料化について再度確認したが前回同様今のところ予定はないとあった。県の動向を踏まえながら慎重に対応していく。

問 町長は知事選挙で、新基地をストップさせる候補を推薦し、衆議院選挙では基地を押し付ける人を推薦した。矛盾する姿勢である。多くの町民が、町長はぶれたと見ていない。
町長 私は一貫してぶれていない。

「建白書」堅持の知事誕生に対する町長の考えは

答 県民の思いを国は真摯に受け止めるべき



大城 毅 議員

問 「建白書」実現を目指す知事が誕生した。12月の衆議院選挙では、沖縄小選挙区の1区から4区まで翁長知事を支える候補者が新基地を進める自民党候補者を破り当選した。
それでも政権は新基地を建設するとしている。民主主義の国であれば許されないがどう考えるか。
町長 多くの皆さんが基地の問題には反対している。県民の思いを国は真摯に受け止めるべきだと思う。

問 町長は知事選挙で、新基地をストップさせる候補を推薦し、衆議院選挙では基地を押し付ける人を推薦した。矛盾する姿勢である。多くの町民が、町長はぶれたと見ていない。
町長 私は一貫してぶれていない。

小中学校にクーラー設置を

問 県議会からの資料では、クーラー設置について小学校の普通教室で与那原町が51%、西原町が54%、八重瀬町で30.9%が整備済みである。本町の6校中5つの学校から整備の要望がある。年次的に整備していくとあったが、クーラー整備の具体的計画はどうなっているか。
問 県議会からの資料では、クーラー設置について小学校の普通教室で与那原町が51%、西原町が54%、八重瀬町で30.9%が整備済みである。本町の6校中5つの学校から整備の要望がある。年次的に整備していくとあったが、クーラー整備の具体的計画はどうなっているか。



クーラーの設置を検討中

こんな質問もしました
・プロサッカーキャンプへの対応は十分か



浦崎みゆき 議員

まじゅんプランを推進しているか

答 約6割の事業で実施できた

問 自分らしく輝いていける社会の実現のために第二次南風原町男女共同参画計画（まじゅんプラン）が平成24年度に策定された。どのよう
に推進しているか。また3年が経過し、成果はどうか。

副町長 進捗を平成25年11月に審議し、町のHPに掲載している。約6割の事業がおおむね実施できた。

企画財政課長 成果の例として挙げると、幼稚園または保育園では「君」や「さん」と男女区別せず「さん」で統一して指導している。女性団体等交流会も年に1度だったが、要望により今年は2回開催している。1月にも実施予定である。女性団体の連携が深まった。



女性団体等交流会

問 男女共同参画推進会議の委員は委嘱されているか。

副町長 平成25年10月19日で委員の任期が満了し、その後は委嘱されていない。

平成27年2月1日から10日に公募等も含め2月中旬に委託を行う予定である。

町外に通う園児に補助を

問 現在、町外に通う認可外保育園児に対する補助金がない。同じ南風原町の子

どもとして不公平がある。町外の園にも補助することができないか。

副町長 町外に通っている子どもは106人いる。町外の園へ直接運営費等の補助することは、単独自治体では厳しい。

問 他の自治体では待機児童世帯に対する助成金がある。本町に導入できないか。

町長 町内の認可外保育園に預けている子たちに対しては助成されているが、町外に預けられている子たちには助成はないということは公平性を欠く。園に助成となると不均衡や格差が出るものと推測する。園ではなく世帯に対して町内で行っている補助額を助成することも大
事である。町外へ通う106人に公平性を期するためにも補助する方向で検討したい。

各公園の毒性樹木の管理は大丈夫か

問 公園内に毒性の樹木である夾竹桃が植栽されている。管理は十分に行っているか。



看板で注意喚起

副町長 町が管理している公園には、夾竹桃や沖縄夾竹

桃が植栽されている。沖縄夾竹桃は、マンゴーのような実がなることから、落下する前に切り落としている。また、看板で注意喚起をしている。

沖縄鉄道とLRTの計画は

問 本島南部地域は、観光関連施設等も多く点在し、都市化が顕著な地域である。定時・定速性確保のために新たな公共交通システム導入が課題となる。鉄軌道やLRTについて南部市町村の検討はどのような状況か。

副町長 島尻地域振興開発推進協議会で市町村担当者の連携した組織の発足に向けて準備を進めている。

問 那覇市、南風原町、与那原町の1市2町での検討も必要と思うがどうか。

副町長 平成25年度より本町と那覇市、与那原町の担当
者で任意の勉強会を行っている。

待機児童解消計画の進捗は

答 子ども・子育て会議で解決策を検討する。

問 以前の一般質問で待機児童解消に向けて認可保育園の創設や分園の促進、保育定数の増員等を計画したいと答弁があった。具体的な計画は進めているか。

副町長 子ども・子育て会議で解決策を検討している。今年度末に子ども・子育て支援事業計画としてまとめる予定である。

そのなかで待機児童の解消・解決方策として認可保育園の改築や分園、小規模保育等、そして認可外保育園の認可化による増設などを順次計画的に配置できるように検討していく。



玉城 勇 議員

町民の声



特定健診へ行こう

てるや よしかず
照屋義一さん(神里)

全市町村には国民健康保険運営協議会というのが設置されています。これは国民健康保険法第11条により国保について市町村長の諮問に応じる機関です。

平成23年度より微力ながら委員をやっております。

医療費の伸びは高齢化社会や医療技術の進歩等により増加の傾向にあります。国保の財政は

支出の大半が医療費であることから、収入が足りないからといって支出を削減するようなことはできません。

現在、特定健診・特定保健指導が実施されておりますが、生活習慣病の発症を抑制し医療費の削減を目指しております。南風原町の役場担当職員、保健師

もそのために頑張っております

が、まだまだ健診受診率が低い状況にあります。町民全ての方が受診されますよう希望します。

※特定健診・長寿健診の無料送迎車もあります。

◎予約番号

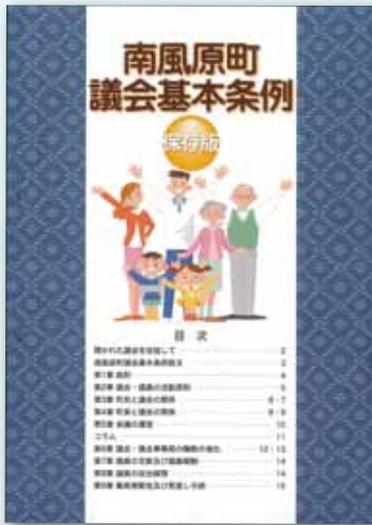
☎098-889-6474

沖縄県健康づくり財団

議会基本条例 保存版ができました

平成26年1月に施行した「南風原町議会基本条例」を分かりやすくまとめた冊子を発行しました。

議会報告会や意見交換会などで活用する予定です。



町議会HPでも閲覧できます

次回定例会の開会予定

3月3日(火)午前10:00

南風原町議会中継

検索

広報委員会

委員長 金城 好春

副委員長 赤嶺 奈津江

委員 大宜見 洋文

照屋 仁士

赤嶺 雅和

宮城 寛諄

編集後記

議会・定例会一般質問は地域を回り、県内外の視察、各種新聞やインターネット検索、町内外での研修や講演会などで得た課題を解決するための重要な機会です。議会広報誌は、一般質問の内容報告や議会と議員の役割、活動状況を町民の皆さんにもっと理解してもらうためにあります。

その編集は、限られた誌面・字数・締め切りの中で、とても頭を悩ませます。前号発行後、町民の皆さんから頂いた質問や意見等が、今号編集への励みになりました。

事務局職員と共に、先進事例の視察・研究も行いながら、文字、文章の言い回し、字間に込めた全議員の思いが掲載された今号も、町民の皆さんにしっかりと伝わる事を願います。

(担当/大宜見洋文)



R100

※環境保全のため、古紙配合率100%再生紙と植物油インキを使用しています。